

平成 22 年度 (社)日本家政学会中部支部第 2 回役員会議事録

日 時：平成 22 年 9 月 18 日(土) 15:20～16:35

場 所：愛知学泉大学 5 号館 551 教室

出席者：東珠実、池田彩子、石原久代、伊藤きよ子、櫻井のり子、中島喜代子、成田公子
新澤祥恵、長谷川えり子、平林由果、三輪聖子、森俊夫

欠席者：江崎秀男、太田壽江、尾畑納子、佐藤生一、高田洋子、長野宏子、松岡英子

(敬称略 五十音順)

- ・平成 22 年度支部役員名簿修正版(資料 2)の確認を行った。
- ・平成 22 年度第 1 回役員会議事録(資料 3)の確認があり、これを承認した。

I. 報告事項

1. 理事会報告

- ・支部長より、以下の理事会(9 月 11 日開催)報告が行われた。

- ① 6 月 12 日～9 月 10 日の家政学会入会申込者の入会が承認された。中部支部は 7 名が承認された。
- ② 平成 23 年度の総会・大会について
会場は和洋女子大学、期日は 5 月 28 日(土)・29 日(日)で、前日の公開講演会は開催せず、28 日に公開シンポジウムを予定している。また、発表入力の J-STAGE が事業仕分けで次年度は運用できない可能性もあるため、ソフトの切り替えを検討中である。
- ③ 23 年度以降の総会・大会開催支部についての説明があり、中部支部は 2016 年に開催予定である。
- ④ 5 桁の会員番号が導入されることとなった。最初の 2 桁が入会年の下 2 桁、のこり下 3 桁はその年の入会順に 001 から並べている。10 月号の学会誌から宛名とともに記載して郵送され、来年度の大会申し込みは会員番号を入力することとする。
- ⑤ 新法人化申請に向けて、支部選挙規程が変更されたことから、各支部の選出内規を次期選挙までに修正する。

2. 平成 22 年度中部支部大会報告

- ① 参加者は 106 名であった。
- ② 反省事項として、ポスター会場がやや狭かった、昼食の注文数の確認が難しい、要旨の余白が広すぎたなどの意見があり、次年度への申し送りとした。

3. 中部支部大会発表奨励賞について

- ・中部支部賞選考委員長より発表奨励賞のエントリー件数と今回の選考基準、選考結果について以下のように説明がなされた。
- ① エントリー件数は口頭発表 6 件(被服 4 件、食物 2 件)、ポスター発表 5 件(被服 3 件、食物 2 件)、合計 11 件で、院生を中心とした若手研究者がエントリーをしていた。

- ② 研究の水準 5 点、新規性 5 点、総合評価 5 点×2、合計 20 点を満点とし、口頭発表とポスター発表から、それぞれ 1 件ずつ最高点を得たものを支部賞に該当するとして選んだ。さらにそれらの発表が受賞にふさわしい内容かを再度確認し、最終決定とした。受賞者については、次回役員会に委員長から正式に書面で提出される。
- ・ 選考委員より、専門分野以外の発表を評価するのは難しいため選考委員を増員してほしい旨の要望が出され、次回から発表者の分野を考慮して増員することとした。

II. 協議事項

1. 平成 22 年度若手の会主催公開講演会について

- ・ 若手の会代表より、院生・学生研究発表会時に公開講演会を開催することとし、演者として国立医薬品食品衛生研究所の春田文子氏（食品微生物学）の内諾を得ていることが報告された。

2. 平成 22 年度家政学関連院生・学生研究発表会について

- ・ 院生・学生研究発表会について以下の事項を確認した。

日時 平成 23 年 3 月 10 日(木) 10:00~15:30

10:30~12:00 講演会

13:00~15:30 研究発表会

会場 名古屋女子大学

3. 平成 22 年度支部総会について

- ・ 平成 23 年 3 月 26 日(土)に椚山女学園大学にて開催することを了承した。
- ・ 新法人化後は総会の開催時期を支部にて決定できるため、次年度の総会については次回役員会で検討することとした。

4. 平成 23 年度支部大会について

- ・ 会場：三重大学
- ・ 時期：平成 23 年 9 月 17 日(土)
- ・ 発表形式：口頭発表のみとすることが了承された。

以上